

季節をはかる分子メカニズム ～ 植物の分子フェノロジー～



工藤 洋 先生

京都大学
生態学研究センター
教授



日時	10月28日(月) 16:30 ~ 18:00
場所	理学部 A館 2階 A222講義室

春にサクラの花が一斉に満開となるように、植物はその種類によって毎年決まった時期に花を咲かせます。虫が花粉を運んでくれる時期にそろって花を咲かせること、それは、植物にとってとても重要です。花粉のやり取りがうまくいくことによって、次世代を担う種子がつくられるからです。それでは、植物は、いったいどのようにして、刻々と変化する気温をもとに長期的な季節変化を読み取るのでしょうか？ 遺伝子の働きやクロマチン修飾を調べることで、その疑問に迫ります。

世話人：木下俊則、王愛里 (内線 4778)
kinoshita@bio.nagoya-u.ac.jp